

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2025年11月25日発行【再刊第41号】

今号の話題

- 台湾からの教育旅行誘致へ
教員ら3人が来千、市内巡る
- 自然豊かな千歳を発信
A T推進業務旅行招請事業
- コスプレで中心街盛り上げ
第2回チトコス開催



ユニバーサルツーリズム

UTモニターツアー開催

高齢者目線でスポットを探訪

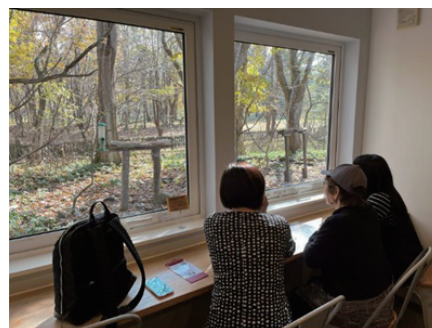
年齢・障害関係なく楽しんで

人に優しい観光商品造成を推進

観光連盟はユニバーサルツーリズムの旅行商品造成を目的に、体に何らかの不自由のある高齢者を対象にした看護師同行付きモニターツアーを実施しました。段差やトイレの利用など、年齢や障害の有無に関係なく旅行を楽しめる商品企画造成に活かしていく方針です。

北海道観光機構の2025年度伴走支援型観光地域協力推進事業として実施しました。

10月30日から2泊3日の日程で実施。千歳市内では蘭越のバードウォッチングカフェでシマエナガのラテアートが施された飲み物を口にしなが、餌台にやってくる小鳥やエゾリスの姿を楽しみました。支笏湖では園地の散策や支笏湖ビジターセンターの見学。観光連盟として練った、体の負担を極力少なくし、年齢や障害に関係なく楽しめるコースを満喫しました。



このほか紅葉の平岡樹芸センターや札幌芸術の森美術館も訪れて、ランチビュッフェも堪能。一連の行程では看護師が体調面に配慮するなどサポートし、参加者に安心感を与えていました。

高齢者や障害者が増える中で、体の不自由さや社会的障壁に係なく旅を満喫できる商品造成のニーズは大きいと思われます。観光連盟では今後もユニバーサルツーリズムを通じた地域の発展、誰もが旅行を楽しめる機会づくりに尽力していきます。

台湾から教育旅行誘致へ

教員ら3人が来千、千歳の魅力教育を体感

「北海道×台湾海を超える訪日探求学習ツアー」

観光連盟は台湾の旅行会社関係者や教員ら3人を招聘し、千歳と近郊地域の魅力を体験してもらう台湾教育旅行誘致事業を実施しました。11月4～8日の4泊5日の日程で、道央地域を中心に、自然や文化に親しめるスポットを案内し、今後の誘客につなげてもらう「北海道×台湾海を超える訪日探求学習ツアー」一度は体験したい！！大自然から学ぶ多文化共生の歴史とSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに実施。台湾からの修学旅行誘致につなげることで地域活性化、千歳と周辺地域の魅力を知ってもらうことにより、将来の観光客誘致につなげる考えです



千歳高校を訪問して説明を受ける台湾の関係者ら

千歳では王子製紙千歳第1発電所、サケのふるさと千歳水族館を見学。川と密接なかわりのある千歳で、千歳川が発電やサケ漁といった郷土の産業・文化と深いつながりを築いてきた歴史的背景に触れたほか、千歳高校も訪問して

同校の教育について理解を深めました。

期間中はノーザンホースパーク、白老ポロトの森ハイキング、ウポポイのガイド付き見学&文化体験&舞踊見学のほか、北海道大学や狸小路も訪れました。

修学旅行は千歳と周辺地域の魅力を多くの生徒に知ってもらうことで、将来のリピーターや、生徒からの口コミによる誘客にもつながり得ます。観光連盟では今後とも国内外からの修学旅行誘客の取り組みに力を入れていきます。

イクラのツリー

今年も登場

サケの卵の入ったシャンパンガラスを積み重ねたツリーが、今年もサケのふるさと千歳水族館に登場しました。鮮やかなライトアップされた6段のツリーが、来場者の目を引いています。



クリスマスらしい装飾が季節の雰囲気を出しています

2015年の同館リニューアル以来、毎年クリスマスを前に展示しています。今年も約100個のグラスを用意して6段に積み重ね、流水を流しています。グラスの中にはサケの卵が入っていて、段ごとにふ化の予定日が違うとのこと。タイミングが合えば、生まれたての稚魚と会えるかもしれません。館内の暗い中で、グラスツリーは鮮やかに目を引いています。サンタクロースやツリーといった装飾もあり、館内はクリスマスの雰囲気です

海外旅行会社招請・FAMツアー

千歳の自然・文化を発信

大自然と豊かな文化の魅力

体験・見学で存分に満喫

アドベンチャーツーリズム

推進業務旅行招請事業

観光連盟は、東京に支店を置く海外旅行会社の関係者を招請したFAMツアーを10月21～24日に千歳市内で開催しました。支笏湖や縄文遺跡をめぐるなど、地域の文化に触れる機会を通して、北海道旅行に千歳市内のスポットを組み込んだ商品開発を促したいと考えています。

千歳市から受託したアドベンチャーツーリズム推進業務旅行招



カヌーを楽しんだ参加者

請事業として実施しました。「FAMツアー」は、旅行業界関係者やメディア、インフルエンサー等を対象に、観光地や施設を直接体験し、その魅力を発信してもらうための視察ツアーを意味します。

歴史や自然文化体験、SDGs（持続可能な開発目標）の要素も組み込んだ行程を意識しました。支笏湖ではカヌーなどのアクティビティを体験。インターネット上では「パワースポット」として取り上げられている、由緒ある千歳神社、世界文化遺産にも登録され

た縄文時代の集団墓「キウス周堤墓群」なども訪れました。参加者は各スポットで関係者から歴史的、文化的背景に耳を傾け、その魅力を現場で実感していました。

観光連盟ではこれまでも、AT推進の一環として、ガイド養成研修、市内観光業の実態や課題の聞き取り、支笏湖地域でのフィールドワークを開催するなど、事業に取り組んできました。

千歳は新千歳空港に近く、清流千歳川や支笏湖とその周辺の自然環境が豊かで、カヌーやラフティング、登山、キャンプといったアクティビティ環境に恵まれています。縄文遺跡や史跡など歴史的なスポットが多くあります。国内外から高く評価されるコンテンツがそろっており、潜在する魅力も多くあります。今後も地域の魅力を発信し、千歳と近郊地域の振興に努めてまいります。

「ウマ娘」「進撃の巨人」などなど

第2回チトコス開催

思い思いの仮装とパフォーマンス

中心市街地活性化へ

ポップカルチャーで盛り上げる

第2回千歳コスプレ・アニメフェスティバル「チトコス」が10月18日、グリーンベルトをメイン会場に開催されました。約200人の参加者が、アニメや漫画のキャラクターを模した仮装しての写真撮影を楽しんだほか、ステージでのパフォーマンスが観衆を盛り上げました。

コスプレで中心市街地を盛り上げようと同実行委が主催。観光連盟も後援しています。

フェスは千歳中学校吹奏楽部の演奏で幕開け。あいにくの曇天模



思い思いの仮装を楽しむコスプレイヤー

様に、小林一人実行委員長は「みんなの熱い力で雨を降らさないよう、きょう一日を楽しみましょう」とあいさつ。

会場には「呪術廻戦」「鬼滅の刃」「ウマ娘」「進撃の巨人」などのキャラクターをはじめ、米軍人の軍服風の衣装に身を包んだ人が集いました。

ステージでは踊りや楽器演奏といったパフォーマンスを披露するなど、参加者それぞれの個性が光っていました。



会場には「痛車」もずらり

市内中心部での撮影会が行われたほか、アニメキャラの塗装を施した「痛車」展示やビンゴ大会も開催されました。

千歳市は声優の鈴木愛奈さん、花井美香さんの出身地。鈴木さんが声優を務めるテレビアニメ「邪神ちゃんドロップキック」が過去に放送される等、ポップカルチャーとゆかりがあります。新千歳空港では毎年「新千歳空港国際アニメーション映画祭」が開催されるなど、幅広いコンテンツで誘客が促進されることを期待しています。

イベント情報

▼第7回千歳年末チャリティーカラオケフェスティバル（2025年12月21日、北ガス文化ホール）千歳商工会議所、千歳圏人会主催。市内の企業、団体、自衛隊、行政の関係者が出場し、自慢の歌声を披露します。入場料1000円。益金は例年、市奨学基金に寄付されています。

▼氷の美術館・千歳支笏湖水濤まつり（2026年1月31日～2月23日、千歳市支笏湖温泉）国立公園支笏湖運営協議会主催。例年、大小約30基の水像が登場します。昼間は日本屈指の透明度を誇る支笏湖の湖水が織りなす青い氷像群が、夜間はライトアップされた会場が、来場者を迎えます。観光連盟が事務局を支援しています。入場料は中学生以上1000円、小学生以下無料。

編集後記

気温もぐつと下がり、雪もちらつく季節。冬の到来です。寒い夜に食べるものは鍋、焼き焼きなど様々ですが、編集子はおでんが食べたいくなります。

具ははんぺん、こんにゃく、たまご、大根など一般的。汁も市販のめんつゆにしょう油やみりん、粉末のかつおだしを加える程度で、お手軽なレシピです。こだわると言えば、大根を下茹でした汁で牛筋を茹でて、その汁ごと鍋に入れてスープにすること。大根のゆで汁で、なんとなく牛筋が柔らかくなるような気がします。

入れる具材から染み出るだしで、スープの味が毎回違うのも楽しみのひとつ。冬の夜、皆さんは何を食べる温まりますか？（ひ）